

学園だより

発行 学校法人
 ノートルダム清心学園
 清心中学校
 清心女子高等学校
 倉敷市二子1200
 ☎701-0195
 TEL(086)462-1661
 FAX(086)463-0223
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報部

何気ないことへの感謝

校長 Sr. 小谷 恭子

得た友達は、かけがえのない存在として生涯続きます。

大震災を体験して、多くの人が、

希薄になっていった人と人との関わり
 の大切さに気付き、「絆」を合言葉に日本中の人々が、他の国々をも巻き込んで繋がることの大切さに気付きました。そして、もっとも近くにいる家族や友達こそが日々の生活を意味あるものにし、積極的に生きる力を与えてくれる存在なのだということを再確認しました。私たちが皆、当然のように受けている気遣いや、思いやり、日々の生活の中で感じる安心感などに気付き、感謝の思いを深くすると同時に、何か自分にもできる小さなことが、家族や友人、他の人々の幸せにつながることを確信したいと思います。



音楽会へ向け、貴重な時間を惜しんで練習



牛乳パックをリサイクルして、「絆」を立体的に展示

朝夕秋風のさわやかな頃となりました。厳しい暑さが毎日続いた今年の夏でしたが、菊が咲き、コスモスの花が風にゆれ、澄んだ空気に乗って生徒の練習する声が遠くまで聞こえるようになり、過ごしやすくなりました。文化祭には、大変お世話になりました。ありがとうございます。たくさんのお客さまをお迎えし、生徒たちの学習発表、舞台発表、研究発表など、楽しんでいただけたと喜んでおります。保護者の皆様には、バザーをお世話いただき、ありがとうございます。

した。厚くお礼を申し上げます。放課後、下校時間近く、校舎を一周してカフェテリアを通りかかりますと、たいてい数人の中学生たちが、部活後のひとときを楽しそうに話しているのに出会います。飲み物を飲んだり、宿題をしながら友達と待ち合わせたり、おしゃべりをしたりしてくつろいでいるように見えます。近年、生徒たちは、集団作りが上手ではないと思うこともありすが、出来上がった仲間同士は、なごやかに見えます。友達は自然にできるものではなく、与えられるもの、つくるもので苦勞と努力を続けた結果



11月1日創立記念観劇 フランチェスコの生涯

この度、中学までしこ生徒会長をさせていただくことになった、2年C組の西井はるかです。中学校で行われるさまざまな行事が充実したものとなるように、アイデアをたくさん出し、誠実に実践していきます。そして、清心中学校に在学していることに誇りの持てる、楽しく活気のある中学校にしたいと思っています。一生懸命力を尽くしてがんばりますので、どうぞよろしくお願います。



中学生徒会長 西井はるか



高校生徒会長 鶴海 莉子

生徒会長あいさつ

文化祭も終わり、何もかもがひと段落し始めた今日この頃、送別会が少しずつ近づいてまいりました。先輩方が卒業されてしまうのかと思うと寂しくてたまりません。先輩方の心に残るような素晴らしい送別会にしたいと考えています。是非、みなさん一緒に協力し最高の送別会にしましょう。さて、次期高校生徒会の選挙の募集時期が迫ってきています。1年生の人は勇気を出して立候補してみてください。宜しくお願います。



生徒たちによる祈りの集い(於トラピスチヌ修道院)

この研修旅行で、札幌の歴史とアイヌの文化が私にとって、とても印象深いものとなった。札幌では、外国のサインや判子が押された紙を実際に見たことから、私が思っていたより昔から外国との貿易が盛んだったことを知り驚いた。また、アイヌの文化は最近まで国に認められておらず、アイヌの人々が日本の政策によってどれほど苦しんできたかが、身にしみて理解できた。アイヌの文化は私たちにとって大切な日本の文化であり、今後も守り続けられるべきであると感じた。

今回の研修旅行で歴史ある北海道は、古代から現代までの日本の始まりの一つではないかと思った。

研修旅行1日目の旭岳では見事な紅葉に触れ、北海道の大自然を肌で感じる事ができました。2日目の旭山動物園では、滅多に見ることができないキタキツネやホッキョクグマなどの動物たちに出会うことが出来ました。また、3日目の洞爺湖環境学習では、ウチダザリガニを捕獲し、文部科学省に報告するために体長や重さ、雌雄や特徴を計測しました。4日目には鮭の故郷館で鮭の生態や遡上について学びました。私たちはこの4日間の学びを通して、自然の雄大さと環境の保全について改めて考える機会をもつことが出来ました。



洞爺湖畔にて記念撮影



沖縄県平和祈念資料館にて

テーマが戦争平和だけあって、とても「戦争」というものを沖縄から感じ取りました。戦争というのはどこか他の国で起こっていること、自分は巻き込まれるはずのないものだと思っていました。しかし今回の旅行を通して、米軍基地が日本の中にあること、沖縄では戦争そのものとまだ戦っている人がいるということを感じてきました。それは実際に沖縄に行ってみなければ分からないものでした。沖縄で話を聞いてみると、疑問がたくさんできてきて、もっと勉強しようと感じました。今回の旅行では学んだだけでなく、自然や文化も楽しみました。私は沖縄をとても好きになったので、絶対にまた訪れたいと思います。



海洋実習を行う生徒たち(於座間味)

私がこの研修で得た大切なものは三つあります。一つめは自分で考えて行動する力です。すぐ人に頼ってしまったり、自分で考えても間違っているのではないかと不安になります。この研修では個人活動も多々あり、自分でよく考えて行動することが必要でした。二つめは仲間と協力することです。水準測量も一人では絶対にできませんでしたが、シュノーケリングやカヤックもお互いに協力して助け合ったからこそできました。三つめは自然の美しさです。特に驚くほど透き通った海の中で、生き物をたくさん見たのが印象的でした。この研修での学びは未来につながる大切なものばかりでした。

北海道歴史文化コース

高2C 岩藤 沙季

北海道自然環境コース

高2A 岡本 彩花

沖縄戦争平和コース

高2A 稲田 玲奈

沖縄自然環境コース

高2E 梶原麻里花



研修旅行



Hiruzen Report

高1E 担任 Brian Timms

On July 31st first grade life science course students left Okayama for a 5-day forest study trip in Hiruzen. This year's trip was warm with sunny days throughout. Students stayed in Tottori University's Field Science Center near the border of Okayama and Tottori prefectures. After taking lectures on the wildlife and flora of the region, students entered the forest to learn to identify tree species guided by Professor Sano of the forestry department of Tottori University. Students used what they learned to then conduct field work. They measured tree age, height and illumination to determine the carbon absorption of trees in a given area. Students left Hiruzen having experienced university-level instruction and field work and with a fresh appreciation for their natural surroundings.



実際に山に入り、研修をする様子

オーストラリア研修

中3学年主任 加村 佳子

中1の入学時から、この日を楽しみにしていたと聞いていました。

いよいよ、オーストラリア研修出発の7月14日。出発式は笑顔でいっぱいでした。関西空港から飛行機に乗り所要時間約9時間で、目的地ブリスベンに到着です。今回はシャフストン・インターナショナルカレッジでお世話になりました。

16日の月曜日から研修スタートです。午前中は英語の勉強。午後からは、毎日、アクティビティで、小学校訪問をしたり、アボリジニの文化研修をしました。一日遠足などもありました。

ホームステイをしながらの生活でもあり、とてもよい異文化体験になったと思います。



修了証を持ち、集合写真でカシャ！

SSH科学英語

英語科主任 岩井 久子



英語で主張する生徒と見学者

平成24年6月、本校にて第4回SSH科学英語研究会が開催されました。生命科学コースでは、ツールとしての英語運用能力の育成に重点をおいた研究開発に取り組んでいます。今回は、生徒がコミュニケーション能力を身に付ける過程を大切にしたいTeam Teachingによる英語ディベートの授業を公開しました。

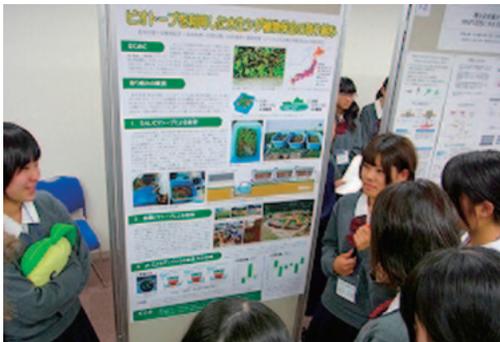
県内外からの多くの参加者の前で「臓器移植」について自分たちの意見を論理的に伝えることができたと思います。今後も生徒たちが向上心をもって、英語によるコミュニケーション能力を身に付けていって欲しいと願っています。

「つながる」SSH活動

教頭 森 雅子

今年も10月の終わりに「SSH研究成果発表会」と「集まれ！理系女子 第4回女子生徒による科学研究発表交流会」を実施しました。成果発表会は、本校の運営指導副委員長でもある川崎医科大学の西松伸一郎先生の「発生」に関する講演の他、高2・高3の生徒が活動や課題研究の口頭発表を行いました。加えて、今年も広島大学の前田祐伽さん、京都大学で博士号（理学）を取得した岡本和子さんの二人の卒業生の講演があり、生徒にとって大変身近な方々から、中学・高校時代を清心で如何に過ごしたか、その後如何に学んだかを聞くことができました。

翌日、福山大学社会連携研究推進センターを会場に、21中高、7大学の女子生徒・学生によるポスター発表会が行われました。



集まれ理系女子で発表・交流する生徒

ター発表、女性研究者の発表、首都大学東京の福田公子先生、大阪府立大学の東優子先生から「理系女子」にエールをおくる講演をいただきました。総勢261名の参加で、清心中学校3年生も初めて、ポスター発表に参加し、多くの参加者からアドバイスをいただきました。日本の女性の生き方が世界からも注目される今、この交流会を継続することの大切さを感じました。つながりを持っていただいた皆様に感謝です。

高校文化祭



高校生徒会 副会長 行廣 紅里

今年の文化祭はテーマ「teenage dream」を掲げ、文化祭を成功させるために各学年がアイデアを出し合い準備をしました。

1年生の展示は「hope」をテーマとして観覧・参加型など工夫し、2年生の劇は「dream」をテーマとしてクオリティの高い作品を作り上げ、3年生の模擬店は初めての試みの中オリジナリティ溢れる内容で行うことができました。十代の私たちが主役になることができる素晴らしい文化祭となりました。

中学文化祭

前中学生徒会会長 藤田 彩乃



中学までしこ生徒会は、文化祭の中学生徒会企画として、クイズや参加団体の紹介などを行いました。生徒会最後の行事ということで、早くから準備を進め、良いものにしてしようと頑張りました。今までの活動を通して、自分たちで考え、行動することの難しさを知ると共に、やり遂げた達成感も味わうことができました。当日は忙しい中、多くの生徒が生徒会企画に参加してくれました。とても思い出に残る文化祭となりました。

平成24年度文化祭 後援会寄贈品販売・模擬店収支報告書			
種別	売上(円)	諸経費(円)	収益(円)
寄贈品販売	549,395	847,385	771,640
模擬店	1,069,630		
合計	1,619,025	847,385	771,640

※後援会の文化祭収益の使途は、平成25年1月に開催される「後援会後期委員会」にて協議・決定される予定です。(昨年度は、「校舎改修整備等助成資金及びクリスマス献金の一部」として寄付していただきました。) ※同窓会模擬店・パザーの収益は、マリア・ジュリー奨学金として500,000円寄附していただきました。

中1郷土学習報告

中1学年主任 松本 浩和

爽やかな秋晴れとなった十月五日、中1は岡山県青少年教育センター閑谷学校を訪れました。午前中は国宝の講堂に入り、論語の講義を体験しました。慣れない正座に苦しむ様子も見られましたが、「己の欲せざる所に施すことなかれ」など、孔子の教えが現在の学校生活においても通じる部分があることを、生徒も実感したようでした。午後の備前焼体験では、講師の方のアドバイスのもと、湯呑みや皿など思い思いの作品を楽しく作り上げていました。普段、学校では体験できない郷土の歴史や文化を肌で感じることでできた一日となりました。

中2林間学校

中2学年主任 森 茂樹

中2は、蒜山にあるセミナーハウスを利用していただき、林間学校に行っていました。2日間とも天候に恵まれ、全日程を滞りなく実施することが出来ました。

1日目の塩釜キャンプ場での飯ごう炊きでは、ゴーグルを装着して奮闘し、おいしいカレーライスを作りました。夜には、セミナーハウス前の駐車場に仰向けに寝ころがって満点の星空を観察しました。2日目は、三平山に登り、大山から日本海までが見渡せて自然の雄大さを体感

しました。班単位の共同生活を各自で、各自に責任感や協調性のある言動も見られ、日頃の学校生活では体験できない充実した行事でした。



三平山登山完了で満面の笑み

中3平和研修

中3学年主任 加村 佳子

10月5日、校外学習の日、とてもよいお天気に恵まれ、中3は、広島市の平和記念公園に向けて出発しました。しかし、行きに事故のための山陽自動車道一部通行止めというアクシデントに巻き込まれました。平和記念公園に着いたのは既に12時を過ぎていました。お弁当はバスの中で食べていたので、到着後から慌ただしく活動開始です。

まず最初に「原爆の子」の像の前で祈りの集いをし、みんなの折った千羽鶴を捧げました。その後は、広島平和記念資料館、そして、グループでの碑めぐりです。生徒たちにはもう一度ゆつくりと見学に行つて欲しいと思います。



「原爆の子」の像の前で祈る生徒たち

校外活動実績(8月)

- 運動系**
 - H24年備中支部高校総体 水泳 女子総合優勝
 - 第39回全国中学生テニス選手権大会 県予選女子団体戦 団体2位
 - H24年備中支部高校総体 テニス 1位
 - H24年天皇杯皇后杯全日本バレーボール 岡山県大会 3位
 - H24年岡山県高校総体 バレーボール 3位
 - H24年中国高等学校バレーボール選手権岡山県大会 4位
 - 第50回岡山県中学総体 テニス 団体2位
 - 第60回知事杯 弓道 団体2位
 - H24年岡山県中学生弓道大会 高校個人3位 町田 花子
 - H24年岡山県中学生弓道大会 個人の部優勝 藤島 彩加
 - H24年岡山県中学生弓道大会 団体2位 藤原 萌愛 藤島 彩加 西山 結莉
- 文化系**
 - 雨活アイデアコンテスト2011 佳作 藤井 和
 - 第4回田辺聖子文学館ジュニア文学賞 読書体験記部門 佳作 植木 彩香
 - 第57回青少年読書感想文 岡山県コンクール 佳作 木村佳奈子 新谷 紗希
 - 第36回全国高校囲碁選手権岡山県大会女子個人戦 2位 伊藤みのり
 - 岡山県高校生美術コンクール 銀賞 森 圭子
- SSH(理系)**
 - 生まれ!科学好き 発表会 優秀賞 松永 梨花 難波 眞子
 - 日本物理学会主催 第8回Jrセッション 審査員特別賞 振動磁場中における磁石の運動 藤原 智子 北井 千晴 新開 咲子 榎原 奈美 堀 蘭夏 濱部 里恵
 - ジュニア農芸化学会2012 銀賞 キュウリによるトマトの抗酸化
- 活性の低下作用と調理による制御**
 - ジュニア農芸化学会2012 銅賞 絶滅危惧種デンジソウの組織培養 御倉友梨恵 中島 遥香
 - 水野 真帆 正藤 理那
 - 第53回日本植物生理学会年会特別企画「高校生生物研究発表会」 優秀賞 デンジソウの就眠 運動リズムの解析 御倉友梨恵 中島 遥香 水野 真帆 正藤 理那
 - 日本生態学会第59回大会高校生ポスター発表「みんなのジュニア生態学」 最優秀賞 絶滅危惧種デンジソウの生育 についての研究 松永 梨花 難波 眞子 藤原 智子 北井 千晴 新開 咲子 榎原 奈美 堀 蘭夏 濱部 里恵
 - オオイトサンショウウオの実験 室内での産卵行動 中桐 菖 保家佑貴子
 - 中四国地区生物系三学会合同大会 優秀プレゼンテーション賞 オオイトサンショウウオの人工授精と発生段階 森下 瑠子 大西 優衣
 - 中四国地区生物系三学会合同大会 優秀プレゼンテーション賞 バイオエタノール製造に使える野生酵母が存在する可能性をさぐる 小嶋田加里 川井 里香 澤田 春那 齋藤 恵 田中 璃彩
 - 中四国地区生物系三学会合同大会 最優秀プレゼンテーション賞 絶滅危惧種デンジソウの生育 についての研究 松永 梨花 難波 眞子 藤原 智子 北井 千晴 新開 咲子 榎原 奈美 堀 蘭夏 濱部 里恵
 - 市街地近郊でのクサガメとミシシッピアカミミガメの生態について 井谷 明音 仲田 雅子 川上 未紗

2013年(平成25年)度入試日程						
	入試種別	出願期間	入試日	試験科目	結果発表	手続締切日
中学校募集要項	1次募集 A日程	12月3日(月)~10日(月) ※郵送の場合は消印有効	12月16日(日)	国語・算数・理科・グループ面接	12月18日(火)	専願者 1月7日(月) 併願者 1月28日(月)
	1次募集 B日程 SELP・NIEP入試	12月3日(月)~15日(土) ※郵送の場合は消印有効	12月23日(祝)	国語・算数・グループ面接 ※NIEP希望者は英語・英語面接を加える	12月25日(火)	専願者 1月7日(月) 併願者 1月28日(月)
	2次募集	1月26日(土)~2月1日(金)	2月3日(日)	国語・算数・グループ面接	2月5日(火)	2月9日(土)
高等学校募集要項	選抜I期 生命科学コース	1月17日(木)~21日(月) ※郵送の場合は消印有効	1月29日(火)	国語・数学・英語・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月5日(火)	専願者 2月12日(火) 併願者 3月20日(祝)
	選抜I期 文理コース選抜クラス	1月17日(木)~21日(月) ※郵送の場合は消印有効	1月29日(火)	国語・数学・英語・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月5日(火)	専願者 2月12日(火) 併願者 3月20日(祝)
	選抜I期 文理プログレスコース	1月17日(木)~21日(月) ※郵送の場合は消印有効	1月29日(火)	国語・数学・英語・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月5日(火)	専願者 2月12日(火) 併願者 3月20日(祝)
	選抜I期 文理レギュラーコース	1月17日(木)~21日(月) ※郵送の場合は消印有効	1月30日(水)	国語・数学・英語・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月5日(火)	専願者 2月12日(火) 併願者 3月20日(祝)
	選抜II期 文理レギュラーコース	2月12日(火)~14日(木) ※郵送の場合は消印有効	2月18日(月)	作文・グループ面接	2月20日(水)	専願者 3月1日(金) 併願者 3月20日(祝)

岡山大学大学院自然科学研究科高校生・大学院生による研究紹介と交流の会 優秀賞
振動磁場中での磁石の運動
久山 寮納 富谷麻也香
中村 恵衣 原紗 耶香
※英語に関する表彰は3月号でお知らせいたします。